

中村保全の会

市町村名 袋井市

地域	宇刈中村集落		代表者名	中島健治	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (h a)	水田	15.70	対象面積 (h a)	水田	15.70	対象資源	数 量
	畑	4.40		畑	4.40	農用地	20.1ha
	草地			草地		開水路	8.0km
	計	20.10		計	20.10	パイプライン	
主要作物	水稻		参加団体	農業者 部農会 中村自治会 中村女性部 中村報徳社 中村小学 校役員会 中村中学校役員会 中村子供会 中村老人クラブ		ため池	2箇所
構成員	農業者	非農業者	計			農道	2.0km
人 数	5	11	16			事業費(年)	814,000

主な活動内容

(基礎部分)
・遊休農地等の発生状況の把握
・施設の点検
・共同作業計画の策定
・草刈り ・配水操作
・定期的な見回り
・かんがい期前の施設の清掃、除塵
・管理道路の管理 他

(農地・水向上)
・施設の機能診断
・診断結果の記録管理
・年度活動計画の策定
・きめ細やかな雑草対策
・通水試験の実施
・ゲート類等の保守管理の徹底 他

(農村環境向上)
・生態系保全計画の策定
・広報活動
・地域住民等との交流活動
・生物の生息状況の把握
・景観形成、生活環境保全計画の策定
・農用地を活用した景観に配慮した作付け

地域の概要

本地区は、袋井市の北部を源とする宇刈川の上流部に位置し、平地では稲作、丘陵傾斜地、隣接する和田岡原(掛川市)の畑地においては、茶などの農産物が生産をしている。
平成4年度には、水田の圃場整備事業を終え、宇刈川及び地区内2箇所のため池の水を利用してお米を生産しているが、「宇刈米」として高い評価を得ている。



農業用水路の泥上げ

目指すべき方向

農地・農業用水(ため池)等の資源を有効に活用するため、農家、地域住民が協同して地域資源の適切な管理、環境保全などの活動を推進する。



パイプラインへの更新

活動の感想

組織には、自治会関係者を含めて構成をしたため、基礎・環境向上活動などにおいて関係団体等との調整がスムーズとなった。
毎月、定例会(20日)を開催し、事業の推進を図った。
農地向上活動(パイプラインへの更新)においては、役員を主体に自分たちで作業したため、コミュニケーションが図られた。

課題

「基礎部分」「環境向上」活動への取り組みに、農業者以外の関係者の更なる理解を得られるよう働き掛ける。
当地区は、山間地のため農業経営基盤が零細で、また全域が農業振興地域に指定されており、少子高齢化、農業の後継問題などが課題となっている。



生き物調査

抱負・コメント

農地向上活動(パイプラインへの更新)を、残る3ケ年で終了する。
地区内の農道、開水路(排水)には、管理放棄等があり、荒廃箇所での整備計画の推進を図る。